

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2020.6

vol. 170

術衣等提供への御礼



令和2年4月末日、新型コロナウイルス感染症の影響で手術着の確保が難しくなるとの情報が有り、不測の事態を考え、各医療関係者等手術着の提供についてお願いいたしましたところ12施設+1個人より提供がなされました。

手術着(布製84枚、不織布153枚)、アイソレーションガウン134枚、キャップ214枚です。

皆様のご厚意に感謝申し上げます。

励ましのお言葉や、優先してお使いくださいとのメッセージも頂きました。有難い話で、鹿児島ならではの感じています。鹿児島の方々の暖かい気持ちをしっかりと受け止め、今後も信頼される病院を目指し頑張ってまいります。本当に有難うございました。

赤塚学園
海江田病院
肝属郡医師会病院
新杏クリニック
パールランド病院
国立病院機構 南九州病院
個人(匿名)

指宿浩然会病院
北園産婦人科クリニック
薩摩郡医師会病院
寺崎皮膚科
古川胃腸科クリニック
吉田記念病院

※50音順

令和2年6月1日
国立病院機構 鹿児島医療センター
院長 田中康博



研修医の声



碓 知樹

4月より鹿児島医療センターで初期研修をさせていただきます。研修医1年目の碓知樹と申します。私は第一循環器内科で研修をスタートさせていただきました。福永先生をはじめ、どの先生からも熱く丁寧なご指導を賜り、日々新しい知識を得る毎日を送らせていただいております。勉強不足で分からない事ばかりの研修に、はじめは不安を抱えていましたが、理解するまで根気強く付き合ってくれる上級医の先生方やサポートしていただくコメディカルの方々、採血やエコーの練習に付き合ってくれる同期の研修医達のおかげで、積極的に挑戦できるようになってきました。

2年間と短い期間にどれだけの事を身につけられるかは自身の過ごし方次第。常に謙虚さと積極性をもって少しでも多くのことを学び、1日でも早く戦力になりたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



今辻 大貴

はじめまして。今年4月から鹿児島医療センターで研修医をさせていただきます。研修医一年目の今辻大貴と申します。生まれも育ちも鹿児島で、この故郷の地の医療に携われることに誇りを感じております。現在、脳血管内科をローテートさせて頂いてから一か月が過ぎました。先生方には熱心に指導していただき感謝しております。6年間勉強してきた机上の知識では分からないことが多くあり、日々己の未熟さを痛感しております。しかし、同時に臨床医学に対する興味とモチベーションも湧いてきます。先生方には迷惑を掛けてばかりですが、この研修医という貴重な2年間で、初心をバネに研鑽する所存です。まずは何事にもチャレンジし、一つ一つの経験を糧に、フィードバックを受けて次に活かしていきたいと思っております。至らぬ点が多いかとは存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



斧淵 奈旺

4月から鹿児島医療センターで初期臨床研修医としてお世話になっております斧淵奈旺と申します。就職早々新型コロナウイルスの影響で自宅待機という珍しいスタートとなりましたが、無事研修をはじめられました。最初の1か月は病理診断科の方をまわらせていただいて、毎日顕微鏡と格闘しています。業務を覚えるよりも自分の勉強不足を痛感させられる毎日ですが、大学の6年間で学んできたことをしっかり臨床につなげていけるように努力していきます。病棟業務や外来業務は同期に比べて遅れてしまっていますが、少しでも早く医師として戦力になれるように業務の方も覚えていきたいと思っています。医師として、社会人としてまだまだ未熟で至らないですが、1日でも早く仕事に慣れて一人前になれるよう研鑽を重ねていきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



金城 多架良

4月から臨床研修医として、鹿児島医療センターにて研修をさせていただきます。金城多架良と申します。鹿児島大学を卒業した後、最初の4、5月は麻酔科にて研修させていただきました。挿管やルート確保、中心静脈カテーテルの挿入など、さまざまな手技を学び、それらを実際に行うたびに、教科書や国試勉強で学んだ通りにはいかないこと、わからないことばかりで、その都度あすればよかったのでは、これはこうしなければならぬのか、と自分の失敗や勉強不足を反省する日々でした。

そしてその反省はこれからの2年間、ずっと続くのだらうと思いました。麻酔科での研修期間中はもちろん、これからも指導医の先生方や看護師のみなさん、研修医の先輩方、そして患者のみなさんにはさまざまな迷惑をかけてしまうと思いつつ、1つ1つ学び、覚え、習得し、少しでも早くみなさんのお役に立てるようになりたいと思っています。

そのために精一杯頑張りますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



椎葉 忠恕

お疲れ様です。今年度から鹿児島医療センターで働かせていただいております椎葉忠恕です。今は麻酔科でお世話になっております。地元は宮崎で、中学からラ・サールに通い、遊びほうけていた結果、2年間東京で浪人することになりました。東京での2年間の浪人は身を削る思いで勉強に励み（気が付いたらラーメンを食べ歩き2年間で体重が8キロ増えていました）、その結果鹿児島大学に入学することができました。鹿児島大学では、フットサルと勉強に真摯に向き合い、粉砕で努力してきた結果、ラサル（留年する）ことなく、無事卒業することができました。

鹿児島医療センターでは、基礎からしっかり学んだうえで、色々な手技を身につけていけるよう精進していきたいと思っています。今は麻酔科で挿管やルート確保、Aラインなどやらせて頂き、日々進歩しているように感じ、嬉しく思います。まだ至らない点が多々あると思いますが、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



下高原 真珠

初めまして。臨床研修1年目の下高原真珠と申します。出身高校は志学館高等部、大学は鹿児島大学です。現在は鹿児島医療センターの糖尿病・内分泌内科にて研修をさせていただきます。糖尿病・内分泌内科では毎日のカルテを記載したりはもちろんのこと、インスリンや内服薬の調整などを上級医の先生方と一緒に考えたり、といったことを主に行っています。4月はまだまだわからないことも多く、カルテひとつ記載するのにも戸惑ってばかりでしたが、上級医の先生方が優しく丁寧に指導してくださるので、できることが毎日少しずつ増え、充実した研修生活を送ることができました。5月からは外来の採血や当直などが始まり、4月とはまた違った日々を送ることになります。なので、医療従事者であるという自覚をより強くもって、一つ一つの仕事に真剣に取り組んでいきたいと考えています。これからもご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



白石 大瑛

皆様初めまして。鹿児島医療センターで研修させていただきます。1年目の白石大瑛と申します。4月から第二循環器内科を回らせていただいております。今年はコロナウイルスの影響で研修開始時期も例年より遅れ、不安がとて大きい状態での研修開始となりました。最初は基本的なことから何もできない状況で、これから先やっていけるのかと心配になることばかりでした。しかし、先生方の優しく熱心な指導のおかげで、少しずつですが、できることが増えてきました。まだまだ迷惑をかけることばかりですが、研修医の時にしかできないことがたくさんあると思うので、積極的に学ばせていただきたいと思っています。

コロナウイルスでとても大変なご時世ですが、医師としての自覚を十分に持って、二年間の研修を頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



新村 和也

このたび山口県での大学生生活を終え、地元鹿児島に戻って参りました。地元ではありませんが、知り合いがほとんどいないゼロからのスタートに不安もありましたが、幸い同期や先輩、先生方に恵まれ充実した研修生活を送らせていただいております。この1ヶ月弱の研修生活を振り返ってみると、分からないことやできないことばかりで不安と戸惑いの日々でしたが、先生方の丁寧で熱心な指導のおかげでできることが少しずつ増え、成長できているという手応えを得るとともに、改めてこの病院を研修先に選んでよかったと感じる次第です。先生方の熱意あふれる指導に応えられるように努力していきたいと思っております。至らない点も多々あることと存じますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



竹原 雅宣

はじめまして。4月から鹿児島医療センターで研修させていただいている研修医の竹原雅宣と申します。新型コロナウイルスの影響で初めに予定していた研修オリエンテーションがありませんでしたが、なんとか無事研修を始めることができて安心しております。4月から5月にかけて麻酔科で研修しております。初めは何をするべきが分からず、指導医の先生方に教えていただきながら日々悪戦苦闘しております。少しずつですが自分なりに勉強して、なぜこういった手技、投薬などをおこなっているのか理解しつつ、チャンスがあれば手技も経験させてもらっています。患者さんの様態によって麻酔の方法が変わってくるのは、研修医なりですが面白いと感じています。病院でただ勉強するお客さんとしてではなく、病院の戦力として働けるようこれからも努力していく所存です。研修医として過ごすこの2年間、15人の同期とともに切磋琢磨しながら日々精進して参ります。ご指導ご鞭撻の程よろしくお祈りいたします。



田原 沙弥香

初めまして。4月から鹿児島医療センターで研修をさせていただいております田原沙弥香と申します。4月から2か月間、第2循環器科で研修をさせていただいております。私は県外の大学を卒業し、まだまだ慣れないことも多く、先生方やコメディカルの方々から沢山ご指導していただき、また患者さんを通してからも多くのことを学び、とても充実した日々を過ごしております。大学で学んできた座学だけではなく、今からどのような検査を行い、治療していくのかといった、実臨床の現場ならではの新しい疑問などを日々感じております。先生やコメディカルの方が優しく丁寧に教えていただき、鹿児島の人々の温かさを痛感しており、鹿児島医療センターで研修することができて本当に良かったと感じております。医師になってまだまだ未熟者ですが、初期研修の間に多くのことを学び、将来に生かしていけるように日々頑張っていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



中馬 直人

はじめまして、鹿児島医療センターで研修させていただいております、中馬直人です。生まれ育った鹿児島で医師としての第1歩を踏み出したことを大変うれしく思っております。研修が始まってから自分の医師・社会人としての未熟さを痛感する毎日ではありますが、素晴らしい指導医の先生方、スタッフの皆様、先輩方、同期のおかげで充実した初期研修を送ることができ、大変感謝しております。2年間でたくさんの経験をさせていただき、成功からも失敗からも多くのことを学びながら成長していければいいなと考えております。まだまだご迷惑をおかけすることもあります。1日でも早く皆様のお役にたてるよう精一杯努力いたしますので今後ともよろしくお願いいたします。



鶴本 亜衣

はじめまして。今年度から医療センターで研修させていただいております鶴本亜衣と申します。医療センターでの研修は大学6年間の勉強とは違い、患者さん1人1人に合わせた治療を考える研修で日々学ぶことがとても多く充実した研修生活を送っています。4、5月は脳血管内科で研修させていただいております。脳血管内科では救急外来で入院された患者さんを入院から退院まで担当させていただき、一つ一つの問題にどう考えて、どういう治療や検査をしていくのか詳しく教えて頂けて、学ぶことの多い日々です。不慣れで迷惑ばかりかけておりますが、それでも指導医の先生方や、研修医の先生方、医療スタッフの皆さんがとても親切に教えてくださり、とても感謝しております。患者さんに向き合い、病態や精神的な面でも患者さんの力になれるような医師になるために努力を惜しまず、まずは2年間自分のできることをしっかりしていきたいと思っております。2年間、どうぞ宜しくお願い致します。



本田 健

4月より鹿児島医療センターにて臨床研修医1年目として働かせていただいております、本田健と申します。現在は脳神経内科を回っており、すでに1ヶ月が経とうとしています。右も左も分からない状態から始まり、採血やルート等の手技や電子カルテの操作、入院患者の管理など一つずつ学んでいる最中です。少しずつ業務に慣れてきたとはいえ、まだまだ分からないことばかりで、自らの力不足を痛感しています。また、学生のときの座学での勉強とは違い、実臨床では目の前の患者さんに対して多角的な視点からのアプローチが必要となり、知識の無さから悪戦苦闘しています。そんな中で、指導医や2年目の先生方が丁寧に指導してくださるので、充実した日々を過ごしています。これから先もご迷惑をおかけすることがあると思いますが、1日でも早く一人前になれるよう努力したいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



山口 舞

初めまして。私は4月から鹿児島医療センターで初期研修医として勤務しております、山口舞と申します。がん・心臓病・脳卒中を中心とした高度医療機関である鹿児島医療センターで研修できることにとても嬉しく思っております。4月からは第一循環器内科で研修させていただいており、病棟業務や基本的手技、救急対応などを経験でき、毎日とても充実しています。机上の勉強だけでなく、採血や静脈路確保などの手技を実践したり、患者さんとより多くのコミュニケーションをとったりしながら、実際に患者さんと向き合うことで学ぶことがたくさんあると感じています。まだまだご迷惑ばかりかけているとは思いますが、指導医をはじめ先輩や同期、すべての病院スタッフの皆様にご指導賜りながら、多くのことを吸収し、少しでも早く病院の戦力となるよう精進し、医師として生涯働く上での礎を築いていきたいと思っております。2年間よろしくお願い致します。



吉留 しずか

はじめまして。鹿児島大学出身、研修医1年目の吉留しずかと申します。医師としての第一歩である初期臨床研修を、専門性の高い先生方の下で学べることを、幅広い分野をカバーする鹿児島医療センターで過ごせることを大変嬉しく思っております。4、5月は第2循環器内科で研修をさせていただいております。学生のころとは全く違った経験の連続で、毎日があっという間に過ぎてしまっています。日々の病棟業務や救急対応など、不慣れなことが多く、緊張してしまったり慌ててしまったりすることも多いのですが、上級医の先生方をはじめ、2年目の先生方、医療スタッフの方々、患者さんも含めて多くの方々に助けられながら、研修させていただいていることを身にしみて感じております。一日も早く多くの方の役に立てるよう、頑張ります。至らぬ点多々あるかと思いますが、どうかご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

外科・消化器外科

急性腹症対応の拡充について

外科・消化器外科グループは、

1. 科学的根拠に基づいた医療と先端医療の癒合を図り、多職種との連携によるチーム医療を実践すること。
 2. 「病む人の気持ち」を重視し、説明と同意に加え、信頼関係に基づいたテーラーメイド型の医療を実践すること。
 3. 治療の主軸である手術は、安全性、根治性、機能性、審美性を追求すること。
- 以上をもって、次世代の外科・消化器外科医を育成し、地域医療に貢献することを使命としています。

また、当科においては、本年4月より外科医師が2名増員となり、5名体制となりました。

救急体制において、これまで十分に対応出来なかったところでしたが、今回の体制により、救急の体制も整い、急性腹症などの緊急手術にも対応しやすくなりましたので、救急医療にも力を注いでまいりたいと思います。

急性虫垂炎、ヘルニア嵌頓、腸管癒着障害、急性胆道疾患、消化管穿孔、虚血性腸疾患、上腸間膜動静脈閉塞等などには緊急・早期手術で迅速性、的確性をもって対応いたします。

今後もより一層地域に貢献できるよう診療して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

鹿児島医療センター 外科・消化器外科



■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <https://kagomc.hosp.go.jp/>

【地域連携】 蘭田・西田・西辻・篠崎・迫田・椎原・出口・吉留・久保・櫻木・田辺・山之内・山口

【がん相談】 松崎・新川・水元・原田・菊永・杉本

地域連携室専用 FAX▶099(223)1177

※休日・時間外は当直者で対応します。

